

地域支え合い協議体講演会を開催しました！

2020年2月20日(木)、みかぼみらい館小ホールにて「地域支え合い協議体講演会」を開催し、170名の方にご参加いただきました。

当日は、講師に目崎智恵子氏(高崎市第1層生活支援コーディネーター)をお迎えし「支えてみよう近所の人を いくつかの自分のために」の演題で、地域での支え合いの大切さについてお話いただいた他、市内各地区の協議体の状況報告を行いました。

協議体の報告では、美土里地区地域支え合い協議体委員の小島和夫氏に活動発表をしていただきました。美土里地区地域支え合い協議体では、地域の方にアンケートをとり、ゴミだし支援に取り組んでおり、その経緯や活動に対する思いを語ってくれました。

参加者からは、「小さなことから無理せずにやってみるのが大切だと思った」「自分にできることがあれば協力したい」といった感想が寄せられ、大変有意義な講演会になりました。

【講演会の様子】



【ロビーでは、協議体の活動の様子を掲示】



講師の目崎智恵子氏(高崎市第1層生活支援コーディネーター)

実際の取り組みの様子を交えながらの具体的なお話で、あっという間の時間でした。

参加した方々からは「大変分かりやすかった。自分にできることからやってみよう」「小さなことからコツコツと取り組んでいくことが大切と分かった。」等の感想が寄せられました。

美土里地区地域支え合い協議体委員 小島和夫氏

「ゆっくりでも、できそうなことから一歩ずつ進んでいくことが大切」「地域の情報をもちよったり発信したり、協議体が地域とつながる大切な場となっている」といったお話が、とても心に残りました。

